



社会福祉法人 輪島市福祉会

〒929-2378 石川県輪島市三井町小泉上野2番地

訪問介護、訪問入浴介護、短期入所、居宅介護支援、介護老人福祉施設

認知症対応型通所介護、配食サービス、在宅介護支援センター、日常生活支援総合事業

■令和6年 能登半島地震 令和6年3月～事業再開に向けて～

能登半島地震によるライフラインの影響について

- ・「水道」については、「ふげしデイ」輪島市水道が通水するも施設内の引き込みで漏水があり、水の使用ができない状態です
- ・三井町の「あての木園」では給水車が受水槽に水道水を補給しており、デイサービスセンターには水が送れている状態ですが、「浄化槽」が使用できませんので、水は使用できません
- ・「道路」を使用しての車の移動については 輪島市内から三井町「あての木園」までは約25分～30分程度で移動することが可能となりました

外部との通信について

- ・通常通りに使用できるようになりましたが、施設内の Wi-Fi や LAN ケーブルの断線などで施設内のネットワークについては使用できていません

建物の修繕について

- ・業者の連絡待ちの状態

事業実施状況

- ・「あての木園居宅介護支援事務所」 業務継続をしております
※担当のケアマネージャーにご相談ください
- ・「あての木園ふげし居宅介護支援事務所」 業務継続をしております
※担当のケアマネージャーにご相談ください
- ・「あての木園デイサービスセンター」 週3回営業しております
※ただし、入浴については入浴支援のボランティアがおいでになる時しか入浴できません
※昼食は提供しております
- ・「あての木園ふげしデイサービスセンター」 3月18日から営業再開しました
※ただし、入浴については入浴支援のボランティアがおいでになる時しか入浴できません
※週5日 営業をしております
※昼食は提供しております
※認知症対応型通所介護と通所型サービスAも行っております
- ・「あての木園訪問介護センター」 3月から業務開始しております
※サービス利用を希望される場合は、ケアマネージャーにご相談ください
- ・「あての木園訪問入浴介護センター」 4月から業務再開できるように準備をしております
- ・「特別養護老人ホームあての木園」「あての木園短期入所センター」については、業務再開の目途は立っていません

雇用を守る

- ・雇用調整助成金の活用（令和6年1月から）
- ・在籍型出向の検討

輪島市内社会福祉法人並びに介護関係者会議の開催(第2回目)

- ・「あかかみ」「ゆきわりそう」「楓の家」については事業継続を行っているが、それ以外の入所施設については再活動ができていない状況を確認 ※地震で被害のあった施設の修繕については全く予定が立たない
- ・在宅サービスについては輪島診療所が震災後についても継続をしている
- ・通所リハビリ、デイサービスについて少しずつ活動している事業所もある

輪島市福祉会:能登半島地震復興のスローガン ～できることから 一歩ずつ～

令和6年 事業計画

令和5(2023)年度 テーマ	評価	課題	令和6(2024)年度 テーマ	R6.1.1 能登半島地震の影響
<p>■ 未来型介護の創造(ICT・IOT 活用による業務改善、福祉機器活用による職員の転倒・腰痛予防を図る)</p>	<p>・持ち上げないための機器の導入、機器の更新を行う</p>	<p>・能登半島地震からの復興(サービスの再スタート) ・機器導入に費用がかかる</p>	<p>■未来型介護の創造をすすめる (業務改善、業務負担の軽減)</p>	<p>■能登半島地震により、地域の在り方が大きく変わりました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の減少 ・働く人たちの流失 ・介護や福祉サービスを必要とされる方の減少 ・輪島市福祉会の存続までも危ぶまれる状況となっています <p>このような状況の中、令和6(2024)年度の実業計画については不確実で不透明な部分もありますが、「ともに支えあえる地域づくり」に取り組みます</p>
<p>■ 科学的介護情報システム(LIFE)による科学的介護の推進を勧める</p> <p>○ 介護サービス利用者の状態や、介護施設・事業所で行っているケアの計画・内容などを一定の様式で入力すると、インターネットを通じて厚生労働省へ送信され、入力内容が分析されて、当該施設等にフィードバックされる情報システムを積極的に活用していく</p> <p>○ 介護事業所においてPDCA サイクルを回すために活用するためのツール※各事業所</p>	<p>・LIFE の特養でのデータ入力ではできた ・フィードバックされた情報は確認できたが、活用までには至らない</p>	<p>・能登半島地震からの復興(サービスの再スタート) ・特養以外の LIFE のデータ入力ができない(入力難しい)(入力する人材が確保できない)</p>	<p>■科学的介護の推進をすすめる</p>	
<p>■ つながる(対話する) 知る(共有する) うまれる(うみだす・育む) ~ともに支えあえる地域を目指して~</p>	<p>・感染対策を図りながら地域との交流を図り始めた</p>	<p>・能登半島地震からの復興(サービスの再スタート) ・社会的交流と感染対策の継続を療法維持していくのは難しい</p>	<p>■ つながる(対話する) 知る(共有する) うまれる(うみだす・育む) ~ともに支えあえる地域を目指して~</p>	

■施設整備・更新……能登半島地震により被害を受けた施設の復旧に対応する

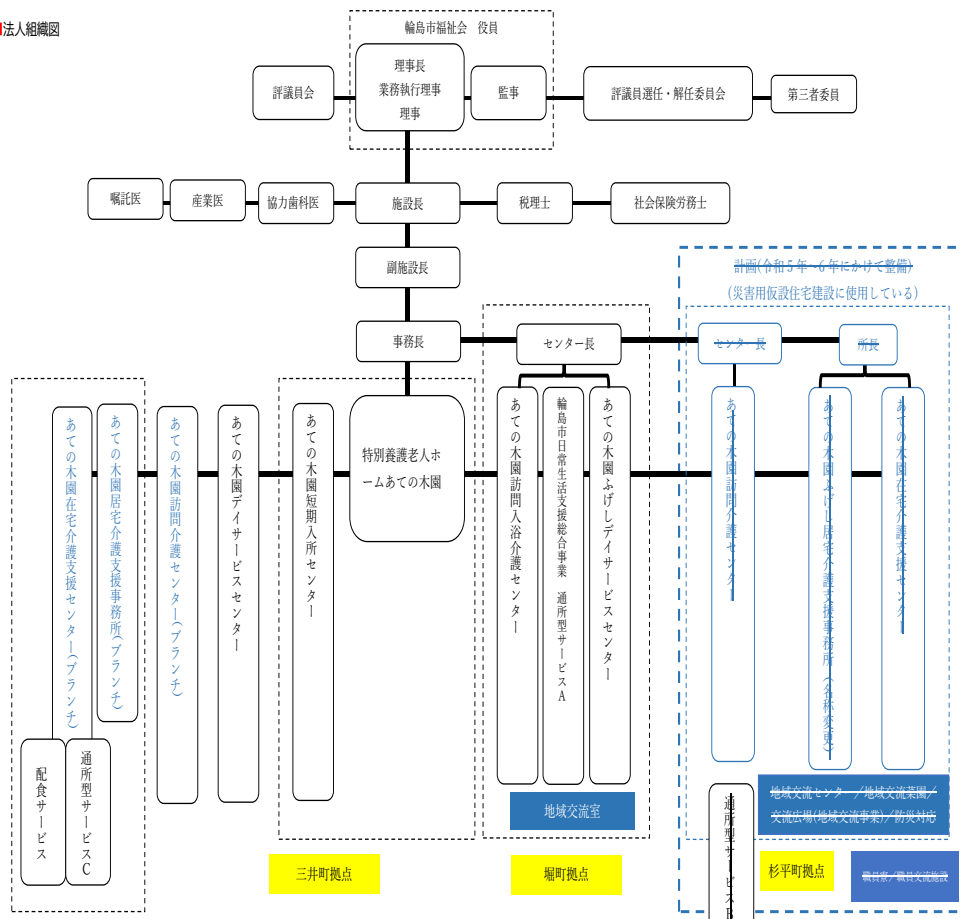
目的	内容	令和5(2023)年度計画の自己評価	令和6(2024)年度に向けた課題	令和6(2024)年度 計画	
<p>業務負担の軽減 働きやすい職場環境</p>	<p>・持ち上げない介護の実践 天井に設置するリフターの設置(居室 3ヶ所) / 床走行式リフターの更新及び導入 ・職員宿舎の開設準備(令和5年~6年)</p>	<p>・天井走行リフターの設置 ・床走行式リフトの更新 4台 ・中古住宅の購入 ・給与明細の電子化 見積徴収業者打合せ</p>	<p>リフターの増設</p>	<p>天井に設置するリフターの設置(居室 3~4ヶ所) 給与明細の電子化、出退勤と介護ソフト連携</p>	<p>能登半島地震からの復興</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・職員交流センターの開設準備(令和5年～6年) ※見守りセンサー導入、給与明細の電子化の導入検討(継続検討課題) 	<ul style="list-style-type: none"> ・出退勤装置と介護ソフトの連携検討 		<ul style="list-style-type: none"> ・ナースコール、見守りセンサー、介護ソフト、介護ベッド連携検討 ・福祉機器の点検 	
災害・感染対応・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用発電機の導入検討 ・職員入口に電子キーの設置 ※融雪装置、本館談話コーナーの拡張(継続検討課題) 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用発電機の導入検討 ・職員入口に電子キーの設置 ・※融雪装置、本館談話コーナーの拡張(継続検討課題) ・入浴機器からレジオネラ属菌検出 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用発電機の導入検討 ・職員入口に電子キーの設置 ・レジオネラ属菌の対応 	能登半島地震からの復興
住みやすい輪島市の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・杉平地区のサービスステーションの開設準備(令和5年～6年) ・地域交流センターの開設準備(令和5年～6年) ・地域交流広場及び地域交流菜園の開設準備(令和5年～6年) ・地域と連携した防災倉庫の開設準備(令和5年～6年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・杉平地区の土地の購入 		<ul style="list-style-type: none"> ・杉平地区サービスステーション建設 	能登半島地震からの復興支援
施設更新の継続検討	<ul style="list-style-type: none"> ・職員用住宅の整備の検討 ・適正な定員(特養,短期入所,通所介護) ・施設の在り方の検討(施設の維持を図るため、特養機能の見直し) ※個室化の検討(継続検討課題) ・ヒートポンプ式空調機器及びヒートポンプ式給湯機器の更新計画 ・屋根防水工事の検討 ・外壁外壁更新工事の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・中古住宅購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な定員(特養,短期入所,通所介護) ・ヒートポンプ式空調機器及びヒートポンプ式給湯機器の更新計画 ・屋根防水工事の検討 ・外壁外壁更新工事の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の福利厚生のための住居/社員寮の整備 ・適正な定員(特養,短期入所,通所介護) ・施設の在り方の検討(施設の維持を図るため、特養機能の見直し) ・※個室化の検討(継続検討課題) ・ヒートポンプ式空調機器及びヒートポンプ式給湯機器の更新計画 ・屋根防水工事の検討 ・外壁外壁更新工事の検討 	能登半島地震からの復興

令和6年 収支予算

科目	本年度予算	前年度予算
介護保険事業収入	247,799,000	661,737,000
経常経費寄附金収入	20,000	211,000
受取利息配当金収入	4,000	9,000
その他の収入	25,617,000	1,767,000
事業活動収入計(1)	273,440,000	663,724,000
人件費支出	365,990,000	429,546,000
事業費支出	68,027,000	106,472,000
事務費支出	112,425,000	124,670,000
利用者負担軽減額	432,000	432,000
事業活動支出計(2)	546,874,000	661,120,000
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	△273,434,000	2,604,000
施設整備等補助金収入	80,500,000	3,300,000
施設整備等収入計(4)	80,500,000	3,300,000
固定資産取得支出	100,000,000	118,520,000
施設整備等支出計(5)	100,000,000	118,520,000
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	△19,500,000	△115,220,000
積立資産取崩収入	293,900,000	113,300,000
サービス区分間繰入金収入	100,000	23,100,000
その他の活動収入計(7)	294,000,000	136,400,000
サービス区分間繰入金支出	100,000	23,100,000
その他の活動支出計(8)	100,000	23,100,000
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	293,900,000	113,300,000
予備費支出(10)	966,000	684,000
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	0	0
前期末支払資金残高(12)	337,305,000	372,461,000
当期末支払資金残高(11) + (12)	337,305,000	372,461,000

■法人組織図



社会福祉法人 輪島市福祉会
 〒929-2378
 石川県
 輪島市三井町
 小泉上野2番地
 電話番号 0768-26-1661
 FAX 番号 0768-26-1751
 メール atenoki@skyblue.ocn.ne.jp
 Hp <http://www.amusewajima.gr.jp/atenokien/>

